

前期基本計画 平成30年度 基本施策方針評価書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 01 地域資源を活用した戦略的な産業振興

主管課長職・氏名	観光物産課長 佐々木 馨
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成30年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	自然、観光、農産物など価値ある地域情報を提供し、これらを広域連携へと展開し、集客力の向上を目指します。またICT（情報通信技術）を活用した地域特産品のブランド化や異業種連携、農商工連携等による商品開発を様々な機関と連携して推進し、地域産業の活性化を目指します。
--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)	
1	暮らし チャグチャグ馬コの入込客数 単位 千人	28	28.5	29	29.5	30	30	A	
			22	18	18	37	37	450.0	
2	幸福 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77	D	
			72.3	78.3	74.6	69.2	69.2	△178.6	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)	
1	暮らし 03010100 自然資源や伝統文化を活かした観光振興 チャグチャグ馬コの入込客数 単位 千人	28	28.5	29	29.5	30	30	A	
			22	18	18	37	37	450.0	
2	幸福 03010100 自然資源や伝統文化を活かした観光振興 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77	D	
			72.3	78.3	74.6	69.2	69.2	△178.6	
3	暮らし 03010200 商工業の支援と地域資源を活かした産業振興 法人事業所数 単位 所	861	869	871	873	875	875	A	
			917	932	956	949	949	628.6	
4	幸福 03010200 商工業の支援と地域資源を活かした産業振興 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5	42	43.5	45	45	D	
			40.4	40.4	36.3	34.6	34.6	△89.1	
	単位								

前期基本計画 平成30年度 基本施策方針評価書

政 策：03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策：01 地域資源を活用した戦略的な産業振興

主管課長職・氏名	観光物産課長 佐々木 馨
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての平成30年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<ul style="list-style-type: none"> 観光振興については、チャグチャグ馬コ大行進に合わせてビックルーフ滝沢を中心として蒼前神社・南部曲り家の3会場で観光協会・商工会・企業と様々な関係団体とイベントを行い市内に37千人の観光客が訪れ、集客力向上に向けた取り組みを推進しました。 市内の大半をしめる小規模商工業者は、その時々々の経済情勢に経営状況が左右されやすく、経営基盤の強化が必要とされています。このことから、関係団体との連携して異業種連携、人材育成並びにブランド開発を支援することにより、経営力の向上と体質強化を支援します。

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に実施した「馬資源を活用した農産物のブランド化・地域共創事業」を引き続き関係者と連携して実施し、自然資源や伝統文化を活かした観光振興については、「ビックルーフ滝沢」並びに「滝沢キッチン」を活用しチャグチャグ馬コのイベントや滝沢はるか等の販売を通して情報発信を行いました。 商工業の支援と地域資源を活かした産業振興については、関係団体と連携して、小規模企業等の課題等について調査研究を行いました。

3. 基本施策の実現に向けての平成30年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

A	社会環境変化なし

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和2年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

A	課題なし

